

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第2回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議（公開）

新たな自主的審議事項について

(2) 報 告（公開）

4区（牧区、板倉区、中郷区、清里区）地域協議会委員合同研修会

(3) その他（公開）

3 開催日時

令和4年5月25日（水）午後6時30分から午後8時00分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：荒川清尊、岡田龍一、漆間和美、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、松原功、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一

・事 務 局：高波義明中郷区総合事務所長、内藤香織次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾広幸市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長

桐山英之地域振興班長、津島優希地域振興班主事、恩田一総務班長、兒玉豊産業建設業務窓口班長、不破直美税・市民生活班長、高橋之夫福祉班長、野坂公子教育・文化班長

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

- ・会議の開催を宣言。
- ・辞職された委員の後任として、5月23日付で漆間和美委員の任命があったことを報告

【漆間委員】

- ・挨拶

【桐山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

- ・会議録確認。「高橋 達也」委員と「竹内 昭彦」委員に依頼。
- ・協議事項「新たな自主審議事項について」、9月までの「地域を元気にするために必要な提案事業」の検討に向け、中郷区内の全住民を対象にアンケート調査を実施することについて説明。
- ・本アンケートは、今後の自主的審議事項を検討するにあたり、区内の住民一人一人が個人的に感じている意見要望を引き出すためのアンケート調査であり、課題に白黒つけるために行うものではない。白と黒の間にある課題への気付きを見つけるためのものである。
- ・アンケート結果を基に、住民との意識共有を図り、地域協議会として確実に具現化できるような課題を見つけ、真に予算要求できることを目指す。

【桐山班長】

- ・配布したアンケート原案は、竹内会長が作成した案をもとに、誰にでもわかりやすく簡潔な質問文にする、曖昧な表現、略語、専門的な用語は使わない、回答方法を明確にすること、以上3点に留意し事務局で修正した。
- ・アンケート実施のメリットとして、より多くの意見を聞くことができ、住民の要望と地域協議会が考える課題解決への取組みとの隔たりが少なくなること、地域の課題が地域住民で共有できることが挙げられる。事務局としても、アンケート調査が最善策と考える。
- ・アンケート原案の作成は、総合事務所の全職員で検討した。アンケートを基に今後の協議を進めるにあたり、職員も協議に加わることを提案。会議にも班長を中心に出席する。

【竹内（靖）会長】

- ・総合事務所職員も今後の協議に加わってもらえることは、地域と行政の協働というところで非常にありがたい。
- ・今回は、スマホを利用したWebでの回答も可能にし、対象者は中学生を除く15歳以上とした。
- ・アンケートの詳細について、委員の意見を求める。

【高橋（達）委員】

- ・地域協議会の考え方が最初に書いてあり、非常に分かりやすい。
- ・事務所職員と一緒に協賛することは良いこと。実施者の記載は、総合事務所と地域協議会の連名にしてはどうか。

【高波所長】

- ・行政が入らないことで出来ることのメリットが大きい。

【竹内（靖）会長】

- ・公表時のことも考え、連名ではなく地域協議会として実施する。

【陸川（陽）委員】

- ・全員アンケートとしていることから、小学生高学年も対象としてはどうか。

【村越委員】

- ・小学生には少し難しい内容。中学生以上でよい。

【竹内（靖）会長】

- ・中学生には、内容を変えて別途実施予定。その内容によって、小学生も含めることでよいか。

【村越委員】

- ・内容を変えて実施するのであれば、小学生高学年も対象でよい。

【荒川委員】

- ・小学生もできるだけ含める方向がよい。

【漆間委員】

- ・高学年を対象にすると低学年の子が外されたと感じる。中学生まででよい。

【岡田委員】

- ・小学生も含めるのであれば、簡易なものを作成する必要がある。高学年だけとするのであれば、中学生までとしたほうがスマート。

【竹内（靖）会長】

- ・中学生の意見は、思った以上にしっかりしている。
- ・小学生も過去の関りの中で、面白い意見が聞いたことがあった。今回のアンケートとは少し時期をずらし、未来へのバトンというイメージも含めて、別途、実施することとする。
- ・アンケート実施のスケジュールもかなりタイトだが、9月の予算要求を見据えたスケジュールを考えている。

- ・Web回答の良いところとして、地域協議会員が集計できる点や短時間で集計できる点もある。
- ・Web回答は、個人情報に関し不安を感じる人もいると思うが、一部専門知識のある方にも確認したところ、心配するほどでないとの見解だった。

【村越委員】

- ・素晴らしいアンケートなので、集まれば本当に良い資料になる。回収率を上げるため、町内会長への回収依頼について事務局はどう考えているか。

【桐山班長】

- ・配布と回収は、各町内会のやり方で依頼し、催促や回答提出の確認は依頼しない想定である。

【村越委員】

- ・町内会長への負担を考えると無理なことは頼めない。少しでも、回答してもらえるように、アンケートの文字の大きさや表題を工夫し、「さとまる」のイラストを入れることはどうか。

【桐山班長】

- ・意見を反映し修正する。
- ・Web回答のメリットは、集計が容易、回収する町内会の負担が減る、若い方をはじめ回答率のアップが見込めることが挙げられる。デメリットは、紙に比べ見にくい、複数回の回答が可能になり、いたずらされる可能性がある。

【陸川（昇）委員】

- ・中郷の場合、高齢者が多く、高齢者はWeb回答が難しいと思う。集計が大変だが、紙のみで実施した方がすっきりする。

【竹内（昭）委員】

- ・Webと紙の併用でいい。期間が短くスマホの普及もあり、有効な方法を使えば回収率も上がると思う。

【竹内（靖）会長】

- ・アンケートは、時代にあった方法ということもあり、紙、Webの両方で実施することとし、実施期間についても、原案どおりでよいか。

【全委員】

- ・異議なし

【陸川（陽）委員】

- ・問7の回答の選択肢に、「高齢者」とつく言葉が多い。地域福祉の取組を聞く問だが、イメージが高齢者に偏ってしまう。

【漆間委員】

- ・福祉にはいろいろな種類があるので、高齢者、障害者、子どもと分けたらよいのではないか。

【岡田委員】

- ・細かく分類すると分かり易くなるが、全体に細くなる懸念がある。
- ・選択肢の並び替えで、区別できないか。

【桐山班長】

- ・言葉を整理し修正する。
- ・本アンケートの特徴として、全ての設問に、「その他」を設定していない。
- ・集計が煩雑になることが懸念されるため「その他」を設定せず、選択肢を多くすることで結論を出せるとの考えからである。

【岡田委員】

- ・その他欄の有無は、事務局の説明どおりでよい。アンケート最後に自由記載欄があるので、そこで代替えできる。

【高橋（京）副会長】

- ・その他欄は不要。問7は、高齢者に関することを一括りに「高齢者支援」という回答にしても良いのではないか。

【竹内（靖）会長】

- ・問7を含め、今ほど出た意見を基に全ての設問を事務局と再調整するが、基本的には原案の形式で進むことにする。賛同いただけるか。

【全委員】

- ・異議なし

【竹内（靖）会長】

- ・アンケートの配布、回収を町内会長に依頼するにあたり、5月31日に全ての町内会長に集まってもらうため、先日、説明会を開催する案内文書を全町内会長に直接持参し、概ね同意をいただいている。
- ・説明会には、全委員も説明側に加わり、出席していただきたい。

【全委員】

- ・異議なし

【桐山班長】

- ・町内会長に依頼する内容と、今後のスケジュールを確認。6月末までにアンケートを集計し、7月の早い時期に第3回の地域協議会を開催、9月の提案を目指す流れとなることを確認。

【竹内（靖）会長】

- ・アンケート実施について、地域協議会一丸となった取組みをお願いします。
- ・町内会長への説明会、回収されたアンケートの集計と、委員の皆さんにとっても忙しい日程になる。
- ・アンケート結果に基づく協議については、3分科会に分かれて行う場面がある。総合事務所職員も一緒になって協議を進める。

- ・9月の予算要求に間に合わせるスケジュールで進む。

【全委員】

- ・異議なし

【竹内（靖）会長】

- ・アンケート実施についての協議は以上とする。
- ・報告事項について事務局の説明を求める。

【桐山班長】

- ・4区地域協議会委員合同研修会の開催について説明し、6月24日、午後2時から清里区で実施する予定を報告。

【竹内（靖）会長】

- ・その他、あるか。

【松原委員】

- ・住民から、休止中のひばり荘の再開情報の照会を受けたが情報はあるか。

【高波所長】

- ・新年度に入って運営会社の部長から連絡あり、水道電気等の設備点検をしながら再開時期を検討しているとの話があったが、現時点で再開時期は未定。

【竹内（靖）会長】

- ・地域にとっては大切な施設である。再開時により多くの人から利用してもらえるように、委員の皆さんからも対応していただきたい。
- ・4月の地域協議会で昨年意見書を提出した勝馬基金を使って実施する事業名を検討したが、地域協議会だよりの発行にあたり、事務局からキャッチフレーズの提案を受け「ずっと大好き中郷！未来へのバトン」を地域協議会として使っていくことにした。
- ・以上で、本日の会議を終了する。
- ・次回の地域協議会は、アンケート結果集計後の7月6日、18時30分からとする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:0255-74-2411(内線165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

公開する会議資料はありません。